

# 第106回二科展京都巡回展

2023年1月24日火曜日～29日日曜日 京都市京セラ美術館

## ●絵画部、彫刻部

今回の京都巡回展は、美術館の使用申請許可の都合上、例年よりだいぶ遅い時期の開催となりました。会期中の天候を心配しておりましたが、大寒波のため、初日の急な積雪で交通に影響が出て、遠方の出品者が動けず、当番など近くの者で対応するという状況となりました。4部門の展示作品総数は282点で、絵画133点、彫刻14点、デザイン58点、写真77点の作品が並び、絵画部は全国巡回の会員、受賞者、地元の会員、会友、一般の作品133点（全国巡回48点、地元85点）、彫刻部は14点（全国巡回10点、地元4点）の作品が展示されました。会場が広くないため、前回窮屈な展示となった反省を踏まえ、全国巡回の作品を減らしたのですが、今回は2点入選が多く、作品点数としては前回より多くなりました。

備品の不足やスペースの問題など、今後の課題はありますが、外光の入る独特な空間で、彫刻との融合展示は落ち着いた良い展示空間になったように思います。

京滋関係の受賞者は、会友賞：平澤紀久子、島崎紗椰、特選：林里美、鈴木健一、新人奨励賞：加治木成美、会員推挙：邑井吉治、柳澤綾子、会友推挙：山本知子の各氏でした。今回は会員推挙の方が2名おられ、今後の活動が期待される展覧会となりました。

積雪のため、会期前半は来場者が少なかったものの、最終土日に挽回して入場者総数は3,542人と前回に近い数となりました。

悪天候にも関わらず、多くの方に来て頂き、一同安堵して終了することが出来ました。

## ●デザイン部

第106回展は、全国巡回展作品56点と京・滋関係の3点を展示。自由テーマ・ポスターと特別課題「ゼロカーボンアクション30」をテーマとしたB1サイズのイラストやフリースタイルの小型作品で各部門毎に特色を活かした力作が並んだ。今回は、京・滋関係で一般の入選者がなく残念であった。4月に開催される関西二科展に向けて制作の準備をしているところです。

## ●写真部

コロナ禍もやや下火になったとは言え、まだまだ警戒を要するこのごろですが、2022年度写真部第70回展は会場の都合もあり、年明けの2023年1月24日から29日まで開催されました。あいにく初日24日夕から思いもしない大雪に見舞われ会期中は寒い日が続きましたが、前回は少し上回るお客様に喜んでいただきほっとしています。

今回の展示数は組み写真が例年より多かった為77点に昨年より5点減ってしまいました。スポンサー賞・奨励賞も割愛させていただきました。誠に申し訳なく思っております。思いますに、今まで大物スポンサーからいただいていた賞の減少が寂しい限りです。

写真部二科賞（今年度・野口恭平氏）についてはここ暫くの間に京都支部から二名が受賞しましたことは喜びに耐えません。

今年もトークショーは割愛しましたものの、京都新聞社賞が、又金一封も復活しまして作品製作者（壺井則行氏）にとっては、ありがたいものでありました。

次回京都巡回展からも、もっとお客様に楽しみ、喜んでいただけるよう工夫を凝らしてまいります。

